

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

農政課(内線:7257)

1目 農業総務費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) GAP(農業生産工程管理)普及推進事業	3,000	0	3,000	1,500			1,500	
トータルコスト	12,942千円 (前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員:1.2人							
主な業務内容	会議・研修会の開催、関係機関との連携・調整、補助金事務 等							

事業内容の説明

1 事業の概要

産地の競争力強化や農業経営の改善、効率化に資するとともに、農産物の食品としての安全性等について、消費者や食品事業者の信頼の確保を図るGAPの取組を推進する。

2 事業内容

(単位:千円)

事業区分	事業内容	事業主体	予算額
普及推進事業	○GAP手法導入・推進会議及び現地指導会の開催 ○GAP指導者育成研修会の開催 ・指導員基礎研修会 ・団体認証研修会 ○普及啓発パンフレット・チラシ作成	県	3,000
モデル団体実践事業	○産地におけるGAPの策定・実践支援 ○モデル実践農場の設置・運営 ○安全性確認のための調査(残留農薬の分析) ○先進地視察		

【参考】GAPは「Good Agricultural Practice(良い農業の実践)」の略

GAPとは、生産者自らが、農業生産工程の全体を見通して、食品安全や環境保全などの観点から特に注意すべき事項(点検項目)を定め、これに沿って農作業を行い、記録・検証して、農作業の改善に結びつけていく手法。コスト削減などの経営の観点から必要な事項も盛り込み、改善につなげられる。

<導入のメリット>

- 食品の安全確保
 - 環境の保全
 - 経営改善
- } GAPの導入により消費者・実需者の信頼確保を目指す

